

脳神経外科

1. 概要

当科では各専門領域の医師を配置し、新生児から超高齢者まで脳神経外科疾患のほぼ全ての領域を対象として、可能な限り当院にて治療が完結できるよう努めている。近年の低侵襲手術への傾向を踏まえ、血管内治療（脳動脈瘤コイル塞栓術、頸動脈狭窄ステント拡張術など）や神経内視鏡手術（脳内血腫除去術、経鼻下垂体腫瘍摘出術、水頭症手術など）などの低侵襲かつ最先端の治療の導入も進んでいる。特に最近では、急性期脳梗塞におけるカテーテル血栓除去術を積極的に行い、従来の治療では救えなかった症例に対して良好な成績を築きつつある。

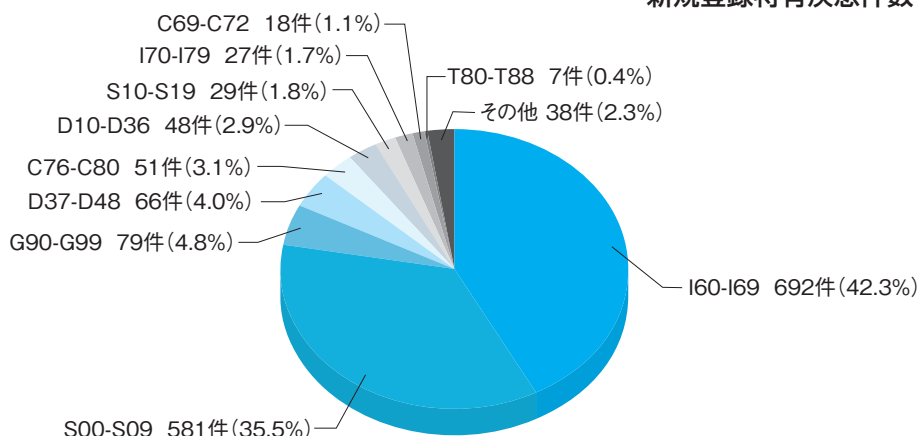
またNavigationシステムや電気生理学的モニター（体性感覚誘発電位、運動誘発電位、聴性脳幹反応、顔面神経誘発電位など）を駆使して、術後の神経障害の出現を可能な限り抑えることにも取り組んでいる。

今後の高齢化医療に対しては、「穂の国脳卒中地域連携パス」をさらに発展させて、この地域の円滑な医療連携の向上に努めて行きたい。

（第二部長 若林 健一）

2. ICD-10による疾患別頻度

新規登録特有疾患件数：1,636件



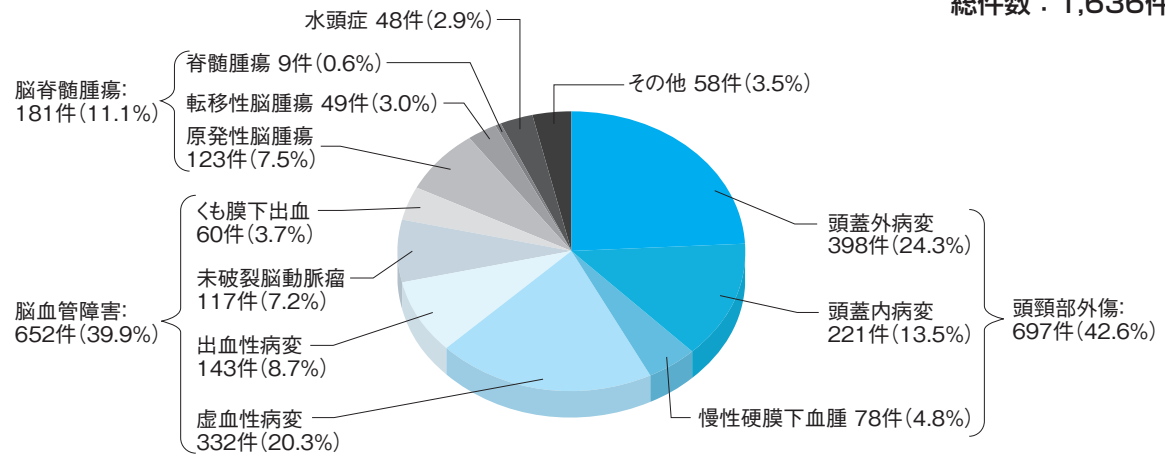
ICD-10 中間分類項目

I60-I69：脳血管疾患
S00-S09：頭部損傷
G90-G99：神経系のその他の障害
D37-D48：性状不詳又は不明の新生物
C76-C80：部位不明確、続発部位及び部位不明の悪性新生物
D10-D36：良性新生物
S10-S19：頸部損傷
I70-I79：動脈、細動脈及び毛細血管の疾患
C69-C72：眼、脳及びその他の中枢神経系の部位の悪性新生物
T80-T88：外科的及び内科的ケアの合併症、他に分類されないもの

3. 活動報告

(1) 疾患別頻度（詳細）

総件数：1,636件



学会発表（医局）

<脳神経外科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	発表年月日
1	内頸動脈閉塞を呈した下垂体卒中の1例	筆頭演者	若林 健一	第25回日本間脳下垂体腫瘍学会	2015/2/28
2	外傷性の頭頸部血管損傷の4例	筆頭演者	雄山 博文	第38回日本脳神経外傷学会	2015/3/6
3	脊髄髄膜瘤患者のfollow-upについて	筆頭演者	雄山 博文	第30回日本脊髄外科学会	2015/6/26
4	高位中大脳動脈M1部破裂脳動脈瘤に対しSTA-MCAbypass併用orbitozygomatic approachにてclippingを行った1例	筆頭演者	原口 健一	第89回日本脳神経外科学会中部支部学術集会	2015/9/12
5	頸動脈内膜剥離術後の動脈壁肥厚および再狭窄についての検討	筆頭演者	原口 健一	日本脳神経外科学会第74回学術総会	2015/10/16
6	下垂体腫瘍に対する内視鏡下経鼻開頭同時手術の有用性	筆頭演者	若林 健一	第22回日本神経内視鏡学会	2015/11/6

研究会発表（医局）

<脳神経外科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	発表年月日
1	Internal trapping後に再出血をきたした破裂椎骨動脈解離の1例	筆頭演者	原口 健一	第5回KNFC	2015/2/21
2	脊髄髄膜瘤患者の follow-up について	筆頭演者	雄山 博文	第54回中部脊髄外科ワークショップ	2015/3/14

講演（医局）

<脳神経外科>

No.	演 題 名	演者名	学会・研究会名	発表年月日
1	血管がボロボロにならないようにするには	雄山 博文	第8回豊橋脳卒中市民講座	2015/11/15

論文・著書(医局)

<脳神経外科>

No.	題 名	区分	氏名	著 書 名
1	VPシャントに伴う腹腔内髄液仮性嚢胞の1例	筆頭著者	若林 健一	小児の脳神. 2015; 39: 368-369.